平成 30 年 3 月
上川・東川・上士幌自然保護官事務所

大雪山国立公園における協働型管理運営体制の構築に向けて

１．大雪山国立公園の課題と目指す姿（※）

①登山道の荒廃、野外のし尿の散乱

→世界の登山者・旅行者の憧れの的となる広大で原生的な山岳景観
→管理の行き届いた魅力がある延長 300㎞の登山道

②一元的な合意形成と情報発信体制の不足

③麓の川・湖沼・温泉・峡谷などの利活用、外国人対応

→温泉・峡谷・湖・雪～大雪山のふもとを遊びつくすツーリズム・自然体験の宝庫
→環大雪山の連携、若い力を中心にした大雪山の魅力づくり、魅力発信、大雪山ブランドの確立

（※）新たな協働型管理運運営体制のもとで議論すべきものであるが、目指すイメージとなるもののたたき台は必要なので、試案として記載。

２．国立公園の協働型管理運営体制の構築

〇協働型管理運営を進めるため各国立公園で「総合型協議会」（環境省以外の国の機関、自治体、民間団体、公園事業者等多様な主体が参加する協議会）の設置が求められる。

〇総合型協議会では、「公園全体のビジョン」、「管理運営方針」、「行動計画」を定めることとされている。

※『国立公園における協働型管理運営の推進の手引き』（平成 27 年 3 月、環境省自然環境局国立公園課）に基づく。

３．目指す姿を実現するための体制（案）

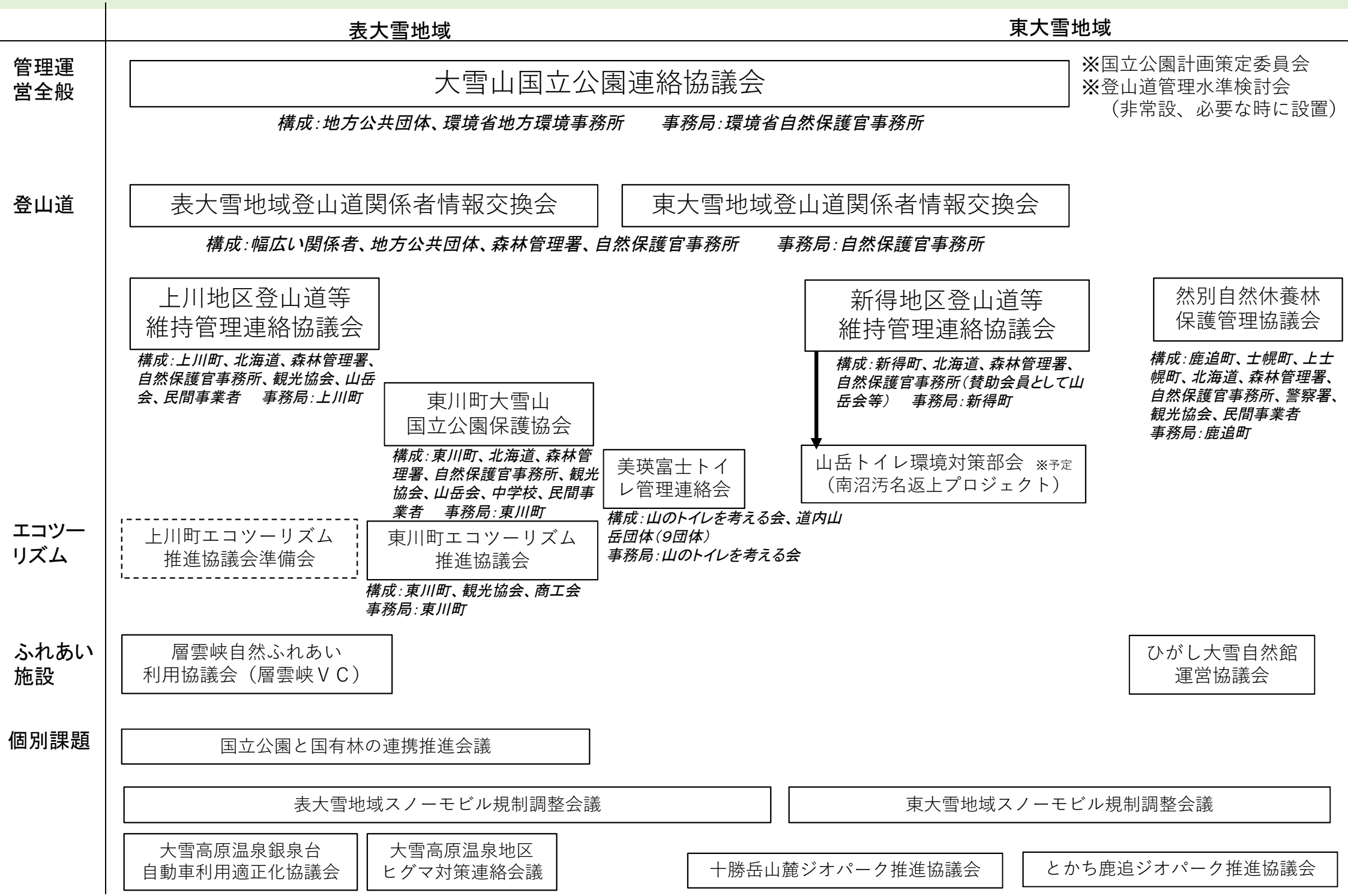
〇現在の大雪山国立公園連絡協議会を拡充し、総合型連絡協議会として位置付け（課題解決のための計画、方針作り）。

〇総合型協議会の下に地域別に、登山道維持管理部会を設置（登山道の維持管理のための合意形成、総合調整）。

〇大雪山全体を活動範囲とし、かつ民間資金の受け皿となるような公園管理のための民間団体の育成を目指す。

＜参考資料＞　大雪山国立公園の管理運営体制の現状

大雪山国立公園の管理運営体制の現状



平成 30 年３月版

大雪山国立公園における新たな協働管理運営体制（案）

＜ポイント＞
①現在の大雪山国立公園連絡協議会のメンバーを拡充し、総合型協議会として位置づけ（大雪山国立公園のビジョンや課題解決のための方針や計画について関係者で協議）。
②総合型協議会の下に地域別に登山道維持管理部会を設置する（登山道等の維持管理のための調整や合意形成）。
③大雪山全体を活動範囲とし、かつ民間資金の受け皿となるような公園管理のための民間団体の育成を目指す。

大雪山国立公園連絡協議会（総合型協議会）

＊大雪山の場合ステークホルダーが多いので、例えば「宿泊施設の意向については観光協会が代表する」などの関係者間の関係を明らかにする。
＊士幌、上士幌、鹿追、新得の観光協会は役場に同じ

＜役　割＞　・国立公園のビジョン作成
・国立公園の利活用や保全上の課題の解決についての方針・計画作り

＜ﾒﾝﾊﾞｰ＞　・環境省、北海道、1市9町（上川町、東川町、美瑛町、上富良野町、富良野市、南富良野町、新得町、鹿追町、士幌町、上士幌町）
・関係行政機関（上川中部森林管理署、上川南部森林管理署、十勝西部森林管理署東大雪支署、旭川開発建設部、帯広開発建設部、北海道運輸局）
・観光関係者（ふらの、層雲峡、ひがしかわ、美瑛、かみふらの十勝岳、南富良野まちづくり各観光協会）
・ロープウエイ事業者　・バス事業者　・国立公園管理の中核を担う民間団体
・自然保護団体　・研究者（大雪山研究者ネットワーク）　・ビジターセンター関係者

＜幹事会＞
担当者による
連絡調整

＜協議課題＞ **①国立公園のビジョン、利活用、課題解決のための方針・計画づくり**
「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」パートナーシップ事業開始（2018 年目標）
「大雪山国立公園ビジョン」の作成（2020 年公表目標）
・山岳地域の上質な空間の保全（大雪山縦走路の活用）　・利用可能な資源の開拓、高付加価値のツーリズムの展開　・利用拠点の活性化
・公園内外の連携、プロモーション促進（ターゲットとそれに応じた利用メニュー開発）　・外国人登山者の適切な利用促進に向けた活動
・利用者負担（協力金）のあり方検討
「大雪山国立公園管理運営計画」策定（2020 年作成目標）
「大雪山国立公園登山道管理水準」改訂（2021 年作成目標）　「大雪山国立公園における登山道整備技術指針」改訂（2021 年作成目標）
②情報の一元化と情報発信（民間団体が育成されるまでの当分の間）

＜予　算＞　1市9町からの負担金（従前の大雪山国立公園連絡協議会の負担金の金額を変更せずに継続）

＜事務局＞　環境省（業務の一部を民間団体に請負）

必要に応じた作業部会

＜役割＞　方針・計画づくりに関する実質的な議論

＜ﾒﾝﾊﾞｰ＞　総合型協議会メンバーから手上げ方式により選出
＊議論の内容によってはメンバー外の出席を求め、意見を聴くことができる。

＜事務局＞ 環境省

表大雪登山道維持管理部会（※）

＜役割＞　登山道等の維持管理活動に関する総合調整と合意形成
＜ﾒﾝﾊﾞｰ＞　・国立公園制度：環境省　・土地所有者：森林管理署、北海道
・歩道事業執行者・関係市町：北海道、1市5町（上川町、東川町、美瑛町、上富良野町、富良野市、南富良野町）、りんゆう観光
・国立公園管理の中核を担う民間団体
・山岳会関係者　・ガイド事業者　・ビジターセンター関係者
・保全活動団体（パークボランティア等）・整備の専門家
・研究者、自然保護団体　等
＜活動内容＞　**①維持管理活動の PDCA サイクル実施と検証**
・歩道等維持管理実施手順ﾏﾆｭｱﾙに基づく関係者間の調整、作業結果の検討
・活動の広報、人材育成（ｾﾐﾅｰ、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ受入）、技術の蓄積と伝承
②登山道等維持管理の適正化に向けた議論
・歩道事業未執行区間の解消
・施設の老朽化対策

＜事務局＞ 環境省（業務の一部を民間団体に請負）

東大雪登山道維持管理部会（※）

＜役割＞　同左
＜ﾒﾝﾊﾞｰ＞　左の中で東大雪に関わる者と関係4町（新得町、鹿追町、士幌町、上士幌町）

＜活動内容＞　同左

＜事務局＞　同左

公園管理のための民間団体(想定)

＜役割（想定）＞
・大雪山全体を民間側で代表
・民間資金の受け皿
・情報の一元化と発信
＜活動内容（想定）＞
①自主事業
・情報の一元化と情報発信及びホームページ管理
・ボランティアのコーディネート
・シンポジューム開催
・登山道の維持管理（管理者と協定を結ぶ）
②民間資金の調達
③請負業務
・各種事務局業務（総合型協議会・登山道部会）
・行政機関の管理・調査業務（登山道巡視、補修、施設の修理）

＊将来的に公園管理団体を目指す
＊総合型協議会で大雪山全体を民間側で代表するという共通認識を醸成していく
＊事務局を担える人材を育成するところから始める

（※）総合型協議会とは独立並行して準備を進め、両方が成立した時点で協議会とその部会との関係になることも想定。
個別の事業者は各立場を代表する団体に出席をゆだね、オブザーバーとなるように推奨。

大雪山国立公園連絡協議会　メンバー案

	組織名
関係行政機関	環境省北海道地方環境事務所長
	北海道上川総合振興局長
	北海道十勝総合振興局長
	富良野市長
	上川町長
	東川町長
	美瑛町長
	上富良野町長
	南富良野町長
	士幌町長
	上士幌町長
	鹿追町長
	新得町長
	上川中部森林管理署長
	上川南部森林管理署長
	十勝西部森林管理署東大雪支署長
	北海道開発局開発監理部連携推進課長
	北海道運輸局
観光協会	層雲峡観光協会
	(一社)ひがしかわ観光協会
	(一社)美瑛町観光協会
	(一社)かみふらの十勝岳観光協会
	(一社)ふらの観光協会
	NPO法人南富良野まちづくり観光協会
交通事業者	(株)りんゆう観光
	ワカサリゾート(株)
	道北バス(株)
	旭川電気軌道(株)
	十勝バス(株)
	北海道拓殖バス(株)
公園管理団体等	国立公園管理の中核を担う民間団体
自然保護団体	大雪と石狩の自然を守る会
	十勝自然保護協会
研究者	大雪山研究者ネットワーク
ビジターセンター運営協議会	層雲峡地区自然ふれあい利用協議会
	ひがし大雪自然館運営協議会
	(東川のビジターセンターの協議会)

東大雪登山道維持管理部会　メンバー案

		組織名	備考
管理・運営	国立公園制度所管	環境省北海道地方環境事務所	事務局
	土地所有者	十勝西部森林管理署東大雪支署	
	関係自治体	北海道十勝総合振興局　環境生活課	
		士幌町	
		上士幌町	
		鹿追町	
		新得町	
	国立公園事業執行者（歩道事業）	環境省北海道地方環境事務所【再掲】	
		■巡視委託：新得山岳会	
		北海道十勝総合振興局　環境生活課【再掲】	
		■管理委託：新得山岳会【再掲】	
		十勝西部森林管理署東大雪支署【再掲】	
	公園管理団体等	国立公園管理の中核を担う民間団体【未定】	
維持管理・利用指導に関する民間参画	整備専門家	渡邉悌二（北海道大学大学院地球環境科学研究院）	大雪山における登山道管理水準等検討会　技術指針作業部会委員
		佐藤文彦（有限会社風の便り工房）	
		岡崎哲三（合同会社北海道山岳整備）	
	保全活動団体（行政制度に基づくもの）	大雪山国立公園パークボランティア連絡会	
		大雪地区自然公園指導員連絡会	
	保全活動団体（民間）	大雪山・山守隊	
		しほろ自然環境に親しむ会	
利用・環境教育	ビジターセンター運営協議会等	ひがし大雪自然館運営協議会（事務局：上士幌町【再掲】）	
	山岳会	十勝山岳連盟	
		新得山岳会【再掲】	
		日本山岳会北海道支部	
	ガイド等事業者	北海道山岳ガイド協会東大雪地区連絡調整室	
		NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター	
		然別湖ネイチャーセンター	
		ボレアルフォレスト	
		山楽舎BEAR	
保護・保全	自然保護団体	山のトイレを考える会	
調査研究	研究者	大雪山研究者ネットワーク	

＜オブザーバー＞
今後、各分野の立場を代表しない、個別の事業者、団体、組織又は、該当分野以外で大雪山国立公園の登山道の維持管理に関心を有する者が参加する場合は、オブザーバーとして参加。

現時点でメンバーになっている個別の事業者、団体、組織は、できる限り、各立場を代表する団体に出席をゆだね、オブザーバーとなるように推奨し、登山道維持管理部会のスリム化を図り、議論が円滑に進むことを目指す。

表大雪登山道維持管理部会　メンバー案

分野		組織名	備考
管理・運営	国立公園制度所管	環境省北海道地方環境事務所	事務局
	土地所有者	上川中部森林管理署	
		上川南部森林管理署	
		北海道上川総合振興局　南部森林室	
	関係自治体	北海道上川総合振興局　環境生活課	
		富良野市	
		上川町	
		東川町	
		美瑛町	
		上富良野町	
		南富良野町	
	国立公園事業執行者（歩道事業）	環境省北海道地方環境事務所【再掲】	
		北海道上川総合振興局　環境生活課【再掲】	
		■管理委託：(有) 風の便り工房	
		■巡視委託：NPO法人かむい（上川地区登山道維持管理連絡協議会経由）	
		■管理委託：大雪山自然学校（東川町、大雪山国立公園東川町自然保護協議会経由）	
		上川中部森林管理署【再掲】	
		上川町【再掲】	
		東川町【再掲】	
		上富良野町【再掲】要確認26,27執行	
		(株)りんゆう観光	
	国立公園事業執行者	(株)りんゆう観光【再掲】	
		ワカサリゾート株式会社	
	公園管理団体等	国立公園管理の中核を担う民間団体【未定】	
維持管理・利用指導に関する民間参画	整備専門家	渡邉悌二（北海道大学大学院地球環境科学研究院）	大雪山における登山道管理水準等検討会　技術指針作業部会委員
		佐藤文彦（有限会社風の便り工房）	
		岡崎哲三（合同会社北海道山岳整備）	
	保全活動団体（行政制度に基づくもの）	大雪山国立公園パークボランティア連絡会	
		大雪地区自然公園指導員連絡会	
	保全活動団体（民間）	大雪山・山守隊	
		大雪山自然学校【再掲】	
		NPO法人　ezorock	
利用・環境教育	ビジターセンター運営協議会等	層雲峡地区自然ふれあい利用協議会（層雲峡ビジターセンター）	
		旭岳ビジターセンター	
	山岳会	旭川山岳会	
		上川山岳会	
		富良野山岳会	
		上富良野十勝岳山岳会	
		美瑛山岳会	
		日本山岳会北海道支部	
		勤労者山岳連盟（道央地区）	
		旭川勤労者山岳会	
	ガイド等事業者	北海道山岳ガイド協会表大雪地区連絡室	
		北海道山岳ガイド協会東大雪地区連絡室	
		山楽舎BEAR	
		ガイドオフィス風	
		山岳ガイド池永氏	
		大雪山倶楽部	
		NPOかむい【再掲】	
		TREE LIFE	
		NPOアースウィンド	
		ガイドの山小屋	
		東川エコツーリズム推進協議会	
		有限会社アグリテック	
保護・保全	自然保護団体	大雪と石狩の自然を守る会	
		北海道高山植物ネット	
		山のトイレを考える会	
調査研究	研究者	大雪山研究者ネットワーク	
		山岳レクリエーション管理研究会	

＜オブザーバー＞

今後、各分野の立場を代表しない、個別の事業者、団体、組織又は、該当分野以外で大雪山国立公園の登山道の維持管理に関心を有する者が参加する場合は、オブザーバーとして参加。

現時点でメンバーになっている個別の事業者、団体、組織は、できる限り、各立場を代表する団体に出席をゆだね、オブザーバーとなるように推奨し、登山道維持管理部会のスリム化を図り、議論が円滑に進むことを目指す。